

秘蔵資料も新たに展示

「金作之助先生顕彰記念室」改修

国道105号線沿い長野岱にある地域資源総合管理施設アグリハウスの内、「金作之助先生顕彰記念室」が改修されました。

作之助先生（明治18年～昭和32年）は、秋田県師範学校卒業後、昭和2年、農民道場「瑞穂行学舎」を開設して農村青年の教育に尽力、旧米内沢町長、県議を歴任され、当時より、産業・経済・文化・教育の発展のため市町村合併を推進した先覚者でした。

記念室には、合併を推進するよう周辺首長へ書いた自筆書面などや、秘蔵資料の中から新たな展示品も見ることができます。



改修された金作之助先生顕彰記念室

春の訪れを実感

堤防沿いに6000球のスイセン

米内沢地区阿仁川堤防沿いに6000球以上のスイセンがつぼみをふくらませ、まもなく歩行者やドライバーの目を和ませてくれます。

このスイセンは、平成12年から2カ年で地域の方々や各団体を中心に植えられたものです。今では分球も進み、年々華やかさを増し、訪れる人に春の歓びを与えてくれます。例年、4月中旬に開花し、堤防沿いの桜の満開までが見頃となります。

春の全国交通安全運動期間は4月15日で終了しましたが、引き続き、脇見運転には、くれぐれもご注意を！



まもなくスイセンが華やかさを増す堤防沿い

白川好光さんが本を出版

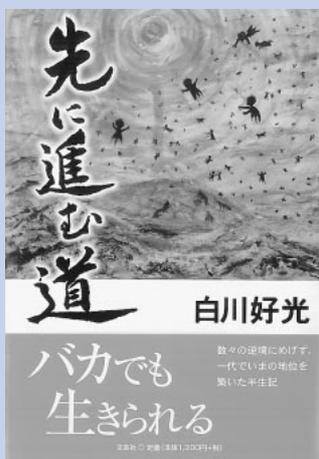
「先に進む道」

阿仁荒瀬出身の白川好光さん（埼玉県三郷市在住）が、このほど文芸社（東京都新宿区）より「先に進む道」を出版しました。文芸社は、アマチュアの作家の方々から広く原稿を募集し、書籍化のサポートを行っています。

毎月1000にも及ぶ応募原稿の中から、白川さんの作品が刊行意義の高い作品であると認められ、このたび出版の運びとなりました。

この作品は、多くの苦難を乗り越え現在の地位を築いた経緯、周囲の人々への感謝の念を綴った白川さんの自叙伝です。

全国の書店でお買い求めやご注文ができますが、東京では、完売して追加発注している書店もあるほど大盛況です。



白川さんが出版した「先に進む道」